

〔参考〕策定団体の例（重点化するプログラムの選定）

- 北海道室蘭市は、施策プログラムの重点化項目の検討に当たって、階層分析法（Analytic Hierarchy Process。以下「AHP」という。）を用いて評価を行いました。この方法の活用により、複数の評価基準に対する重要度を客観的に示すことで、円滑な合意形成につながりました。

AHPとは	複数の評価基準を有する選択肢がある場合に、それぞれの評価基準の相対的な重要度を定量的に計測する意思決定手法
AHPの手順	<p>室蘭市では、以下のような手順で評価を行った。</p> <p><STEP 1> 評価基準の決定</p> <p>北海道強靱化計画との整合を図り、4つの評価基準を設定。</p> <p>「影響の大きさ」：取組を行わない場合、大規模自然災害の発生時においてどの程度重大な影響を及ぼすか</p> <p>「施策の進捗」：取組の進捗をこれまで以上に向上させる必要があるか</p> <p>「平常時の活用」：取組みが大規模自然災害の発生時のみならず、平時においても有効に機能するか</p> <p>「国土強靱化への寄与」：取組みが国全体の強靱化にどの程度寄与するか</p> <p><STEP 2> 評価基準の一对比較と重みづけ</p> <p>STEP 1で設定した評価基準の「一对比較」を実施。例えば、「影響の大きさ」と「施策の進捗」とを比較し、「同じくらい重要（1点）」、「やや重要（3点）」、「かなり重要（5点）」、「非常に重要（7点）」、「極めて重要（9点）」の尺度を用いて評価。</p> <div data-bbox="913 1251 1480 1477" style="text-align: center;"></div>

AHPの手順	<p>※評価基準が4つの場合、「①対②」「①対③」「①対④」「②対③」「②対④」「③対④」の6通りの一対比較を実施。</p> <p>一対比較の結果をもとに、幾何平均を用いることにより、それぞれの評価基準に対して重み（ウエイト）付け。</p> <p><STEP 3>重要度の評価</p> <p>次に、施策プログラム毎に4つの評価基準それぞれの重要度を「重要ではない(1点)」、「あまり重要ではない(3点)」、「普通(5点)」、「重要(7点)」、「とても重要(9点)」で評価。これにSTEP 2で算出した重み（ウエイト）をかけた上で、点数を足し合わせたものを、各施策プログラムの「総合評価点」として活用。</p>
--------	---